



お元気ですか！
志村 たかよし です

第763号 2015年11月1日

日本共産党中央区議団

中央区 築地 1-1-1
電 話 3 5 4 6-5 5 6 3
F A X 3 5 4 6-9 5 7 0

築地市場「移転」計画 このままでは「大波乱」必至！



強引に建設工事を進める豊洲新市場水産棟の様子＝晴海埠頭から撮影 9/26

東京都は、築地市場を廃止し、来年11月に豊洲新市場の開設を強引に進めようとしています。とは思いうように進んでいません。いくつかの問題点をお知らせします。

「環状2号線」が使えない!?

豊洲新市場の致命的な欠点に「深刻な土壌汚染問題」がありますが、ほかにも「交通アクセス」問題があります。

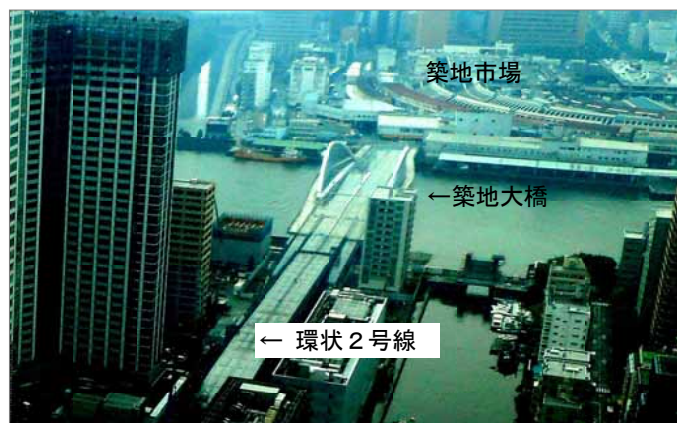
豊洲埠頭は三方が海で、橋を渡らなければ、どこにも行くことはできません。

そのため、環状2号線は、豊洲市場にとって「生命線」とも言われています。

環状2号線は、築地市場を移転させた「跡地」を通って汐留につなげるため、豊洲新市場の開設には間に合わず、開通を三年後の19年七月末に予定しています。

その間、築地市場の間は「暫定開通」にするしていますが、築地市場が営業している間は「暫定工事」をすることができず、豊洲市場開場時は、「暫定開通」すらできません。

豊洲への引越しに、環状2号線が使えない状況なのです。



築地市場にぶつかっている環状2号線＝7/24撮影

引越してきめるのでしょうか！

都の調査によると、移転に伴い運搬が必要な荷物の総量は、2トトラックで9325台にも上るといいます。

移転のために休市となる4日間で休みなく走り続けたとしても、1時間当たり約100台、36秒に1台のペースでトラックが走り続けないと終わらないという計算になります。



豊洲新市場全体イメージパース＝都の資料より

また、豊洲市場でも使うターレットやフォークリフトは2619台あり、仮に2トトラックで運ぼうとすると新たに1000台以上必要になります。

現在、築地市場に築地大橋（一面下写真）が接していますが、都は、環状2号線を引つ越しに使えらると思えないとも明言していません。

すでに、月島・勝どきなどの町会と区議会は、環状2号線が汐留まで貫通しないままでの「部分開通」は、地元で騒音や車の増大など悪影響が大きいと認められないと、都に意見を上げています。

「移転」の1年前なのに、引越しの動線が決まっていけないということとは、築地「移転」がそもそも欠陥を持つ計画であることを示しているのではないのでしょうか。

「原状回復」に業界反発

10月19日の引越準備委員会で東京都は、豊洲移転における築地市場の設備や造作の撤去について、業者負担による「原状回復」という考え方をはじめて示しました。

業界側は、築地市場の取り壊しを前提に退去する場合にも、原状回復義務を課すのはおかしいなどの反対論が相次いだ模様です。

また、移転に際して不要となる廃棄物処理も排出者の負担で行うという考え方も示されました。

「都の案は到底受け入れられない」と委員会は紛糾し、近く改めて検討することになりました。

新たに19億円増！

膨らみ続ける工事費

都はこのほど、卸売場と転配送センターを低温管理するために必要な防熱建具や断熱パネルの取り付けを行う「機能強化」工事を、大成建設JVに19億6884万円で発注しました。

豊洲新市場の整備費は、4年前の3926億円から今年の春には5884億円に増加しましたが、またまた約5903億円へと膨らみました。

「強化」工事の費用負担について、都は業界から徴収する考えですが、業界側は「都費による整備が妥当」と反発しています。

なお、開設1年前にもかかわらず、「施設使用料」はまだ決まっています。

やはりリスサンだった対策工事

10月12日の都議会経済・港湾委員会で、かち佳代子日本共産党都議が豊洲新市場予定地の土壌汚染対策で「帯水層底面調査」を579区画中333か所、実に6割近くの地点で調査を行っていないと指摘しました。中央卸売市場の基盤整備担当部長は「確認を行っていない区画がある」と認めました。

こんなズサンな工事で「土壌対策工事が完了した」と言えるのでしょうか。

東京都は豊洲新市場の建築工事を進め、来年11月には開場するとしていますが、未調査問題は、将来にわたって都民・市場関係者などに疑問と不安を残すこととなります。

とるべき賢明な道は、豊洲への「移転」は見直し、築地での営業を続けることです。



「意見、要望など、お気軽に」連絡ください(03-6600-0000)